

大日本刑法俗解大全

特39

807

036080-000-7

特39-807

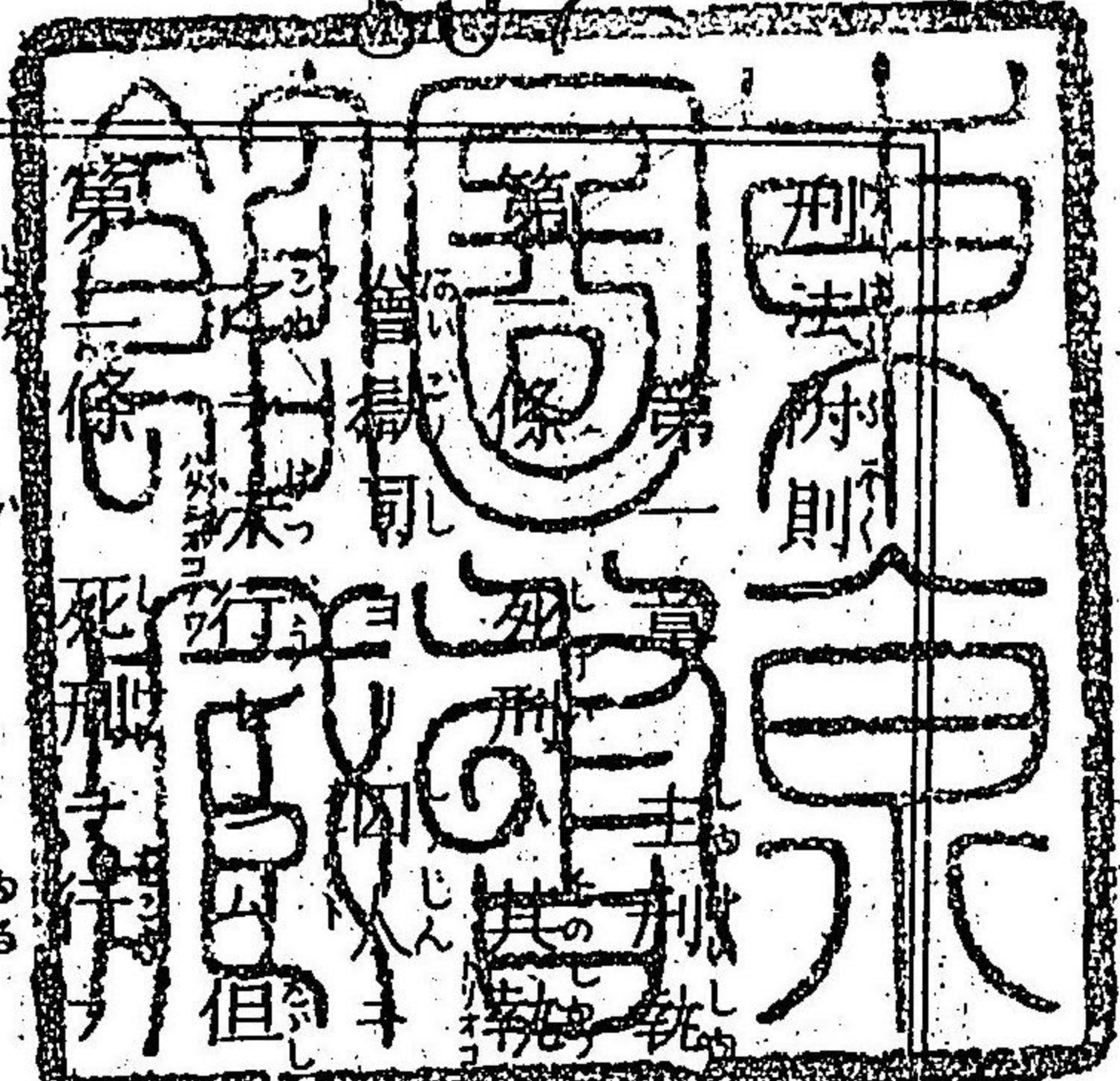
大日本刑法俗解大全

藤井幸三郎

M15

BBP-0731





刑罰則
 第一條 死刑執行は、裁判所ノ檢察官書記及ヒ獄司刑場ニ立
 場ニ入ルヲ許サス但立會官吏ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス
 第二條 死刑執行ハ、刑場ノ警戒ヲ嚴ニシ執行ニ關スル者ノ外刑
 場ニ入ルヲ許サス但立會官吏ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス
 第三條 死刑ノ執行畢リタル時ハ書記其始末書ヲ作り立會ヲ爲シタ
 ル官吏ト共ニ署名捺印シ之ヲ裁判所ノ檢査局ニ納ム可シ
 第四條 左ニ記載シタル日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

元始祭
 孝明天皇祭
 紀元節

春季皇靈祭

仁孝天皇祭

神武天皇祭

六月大祓

秋季皇靈祭

神宮神嘗祭

天長節

後桃園天皇祭

新嘗祭

光格天皇祭

十二月大祓

第五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ト申スル者ハ醫師及ヒ穩婆ヲシテ之ヲ検査セシメ果シテ懐胎ナル時ハ檢察官ヨリ司法卿ニ上

申シテ其執行ヲ停止シ産後一百日ヲ経テ更ニ司法卿ノ命令ヲ受ケテ執行スヘシ

第六條 死刑ノ遺骸ハ一定ノ場所ニ埋ム若シ親屬故旧請フ者アル時ハ獄司之ヲ許可シ下付スルヲ得

第七條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル者執行ニ至ルマテ何時ニテモ獄司ノ許可ヲ得テ其親屬故旧ニ接見スルヲ得

第八條 死刑ヲ執行シタル時ハ犯人ノ屬籍氏名年齢職業住所及ヒ其罪状刑名ヲ記載シテ左ノ各所ニ榜示公告ス可シ

刑ヲ宣告シタル裁判所ノ門前

犯罪ノ地

犯人住居ノ地

第九條 徒流ノ囚ヲ發遣スルハ裁判ヲ爲シタル地ノ獄司ヨリ内務卿ニ上申シ其命令ヲ待テ發船ノ地ニ護送ス可シ

第十條 徒刑ノ囚ハ島地ニ於テ便宜ニ從ヒ獄外ノ役ニ服セシムルヲ得

第十一條 流刑ノ囚幽閉中獄内ニ於テ自ラ工業ヲ爲サント請フ者ハ獄司之ヲ許ス可シ

第十二條 流刑ノ囚幽閉ヲ免ス可キ者アル時ハ獄司ヨリ内務司法兩卿ニ上申シ其許可ヲ受ク可シ

第十三條 徒刑ノ囚假出獄ヲ許サレタル者又ハ流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者家屬ヲ招キ同居スルヲ請フ時ハ之ヲ許ス可キ得但其所費ハ自ラ之ヲ辦ス可シ

第十四條 流刑ノ囚幽閉ヲ免シ地ヲ限リ居住セシムル者ハ監獄近傍ノ地ヲ限リ獄司ノ監督ヲ受ケシム若シ已ムコトヲ得サル莫故アル時ハ獄司ニ請フテ限外ニ出ルヲ得

第十五條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者再ヒ罪ヲ犯シタル時ハ本刑

期限内ト雖モ島地ニ於テ直チニ其刑ヲ執行ス可シ

第十六條 懲役重禁錮ノ囚ハ便宜ニ從ヒ獄外ノ役ニ服セシムルコトヲ得

第十七條 禁獄輕禁錮ノ囚獄内ニ於テ自ラ工業ヲ爲サント請フ者ハ獄司之ヲ許ス可シ

第十八條 服期限内更ニ罪ヲ犯シ再ヒ定役ニ服スル者後犯ノ刑期百日以内ハ工錢ヲ給與セス

第十九條 囚人ニ給與スル工錢ノ額ヲ定メ之ヲ交付シ及ヒ預置スル方法ハ監獄ノ規則ニ從フ

第二十條 罰金科料ノ宣告ヲ受ケ未タ納完セサル前ニ於テ犯人身死スル時ハ之ヲ徴收セス附加ノ罰金ニ於ル亦同

第二十一章 監視
第二十一條 監視ハ主刑ノ終リタル後仍ホ將來ヲ豫見スル爲メ警察官吏ヲシテ犯人ノ行狀ニ監視セシムル者トス

第二十二條 監視ニ付ス可キ者ハ豫メ其住所ヲ定メシメ主刑ノ終リタル時獄司ヨリ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護送シ監視ヲ執行セシム主刑ノ期滿免除ヲ得タル者又ハ主刑ヲ免シタル者ハ監視ニ付スル者ハ其裁判所ノ檢察官ヨリ警察所ニ護送ス可シ

第二十三條 犯人ヲ警察所ニ護送スル時ハ其監視ノ起算滿期ヲ記載シタル文書及ヒ刑名宣告書ノ謄本ヲ附ス可シ

第二十四條 犯人ノ住居遠地ニ在リテ一日程ヲ過クル者ハ獄司若クハ檢察官ヨリ先ツ最近ノ警察所ニ護送シ其警察所ヨリ住居ノ地ノ警察所ニ送致ス可シ

第二十五條 警察所ヨリ犯人ヲ住居ノ地ノ警察所ニ送致スル時ハ其里程ヲ計リ日數ヲ限定シテ旅券ヲ付與シ犯人到着ノ日直チニ之ヲ其地ノ警察所ニ差出サシム但途中更故アリテ滞シタル時ハ第三十一條ノ例ニ從フ可シ

犯人ヲ送致スル時ハ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ其地ノ警察所ニ送致ス可シ

第二十六條 犯人住居ノ地ノ警察所ニ於テハ監視ノ期間遵守ス可キ條件ヲ讀聞カセ監視ノ票ヲ下付ス可シ

第二十七條 監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵守ス可シ

一 毎月二度所轄ノ警察所ニ到リ其謹慎ナルヲ表示シ監視ノ票ヲ出シ官吏ノ認印ヲ受ク可シ但疾病又ハ已ムヲ得サル更故アリテ警察所ニ到ルノ能ハサル時ハ其更由ヲ届出ツ可シ

二 酒宴遊興ノ席ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルヲ許サズ

三 更故アリテ其住居ヲ轉移セントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ

四 擅ニ他ノ地方ニ旅行スルヲ許サズ若シ已ムヲ得サル更故アリ時ハ其更由ヲ警察所ニ具申シ許可ヲ受ク可シ

第二十八條 監視ノ期限間ハ警察官吏時宜ニ因リ其家宅ニ臨檢スル
ヲアル可シ

第二十九條 警察所ニ於テ住居ヲ轉スルヲ許可シタル時ハ其事由
ヲ轉住ノ地ノ警察所ニ通知シ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ遞送
ス可シ

第三十條 他ノ地方ニ旅行スルヲ許可シタル時ハ其里程ヲ計リ先
方ノ地ニ滞在スル時日ヲ算シ往復回数ヲ限定シテ旅券ヲ付與ス可シ
犯人先方ノ地ニ到レハ其地ノ警察所ニ出テ旅券ヲ示シ官吏ノ認印
ヲ受ケ限定ノ日數内ニ歸來リ直チニ旅券ヲ警察所ニ還納ス可シ

第三十一條 旅行中天然又ハ疾病等ニ因リ臨時淹滞シタル時ハ事由
ヲ其地ノ警察所ニ具申シ官吏ノ證書ヲ受ケ歸着ノ日旅券ニ添へ警
察所ニ差出ス可シ

第三十二條 監視ニ付スル者住居ヲ及ヒ引取人ナキ時ハ其期限間

懲治場ニ留置シ工費ヲ爲サシメ又ハ使役ニ供ス住居遠地ニ在テ歸
着スル資カトキ者亦同シ

第三十三條 懲治場ニ留置シタル者限内引取人ヲ得又ハ住居ノ地ニ
歸着スル資カヲ得タル時ハ其地ニ送致シテ殘刑ノ監視ヲ執行セシ
ム可シ

第三十四條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯シ初犯原犯共ニ監視ニ付ス可キ時
又ハ監視ノ期限間再ヒ罪ヲ犯シ更ニ監視ニ付ス可キ時ハ並ニ主刑
滿限ノ後刑後ノ期限ヲ通算シテ監視ヲ執行ス可シ

第三十五條 罰金ヲ禁錮ニ換ヘタル格監視ニ付ス可キ時ハ其禁錮ノ
日數ヲ監視ノ期限ニ算入ス可シ

第三十六條 監視ニ付セラレタル者其規則ヲ遵守シ檢査ノ扶アル時
ハ警察官ヨリ其事實ヲ上申シ内務司法兩卿ノ命ヲ受ケテ假ニ監視
ヲ免スルヲ得

第三十七條 假令監視ヲ免セラレタル者住居ヲ轉移スル時ハ第二十

七條ニ第三及ヒ第二十九條ノ例ニ從フ可シ

第三章 假出獄及ヒ特別監視

第三十八條 假出獄ヲ許ス可キ者アル時ハ獄司ヨリ其犯人ノ行状及

ヒ刑名入獄ノ年月ヲ記載シ假令出獄ヲ許シレントキ内務司法兩卿

ニ上申シテ許可ヲ受ク可シ

第三十九條 假出獄ヲ許シタル時ハ獄司ヨリ其證票ヲ犯人ニ下付ス

可シ

第四十條 假出獄證票ニハ左ノ條件ヲ記載ス可シ

一 犯人ノ屬籍氏名年齢住所罪名刑名及ヒ處刑ノ年月日

二 殘期何年何月何日間假出獄ヲ許ス可キ

三 假出獄中ハ特別監視ニ付ス可キ

四 假出獄中更ニ重輕罪ヲ犯シタル時ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中

ノ日數ヲ刑期ニ算入セサル

第四十一條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者假出獄中自ラ財産ニ治メ若

クハ職業ヲ營メントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ

第四十二條 假出獄ヲ許ス可キ者ハ豫メ其住所ヲ定メシメ出獄ノ日

獄司ヨリ其證票ノ騰水ヲ添へ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護送シ

特別監視ヲ執行セシム可シ

第四十三條 特別監視ニ付スル者ハ第二十五條第二十四條第二十五

條第二十六條第二十九條第三十一條ノ例ヲ適用ス

第四十四條 特別監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵守

ス可シ

一 毎週間一度所轄ノ警察所ニ到リ其識愼ナルヲ表示シ監視ノ票ヲ

出シ官吏ノ識印ヲ受ク可シ但疾病又ハ已ムヲ得サル莫故了リ

テ警察所ニ到ルヲ能ハサル時ハ其莫由ヲ届出ツ可シ

二 瀧敷遊興ノ隙ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルヲ許サス
 三 更故アリテ住居ヲ轉移セントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受
 ク可シ但他ノ府縣ニ轉移スルヲ許サス
 四 往復一日程ヲ過クル地ニ旅行スルヲ許サス
 第四十五條 特別監視ノ期限間ハ警察官吏更宜ニ因リ其家宅ニ臨檢
 スルヲアル可シ
 第四十六條 假出獄ヲ許サレタル者刑期満限ノ日ニ至レハ假出獄證
 票ヲ警察所ニ還納シ警察所ヨリ證票ヲ出シタル獄司ニ遞送ス可シ
 其刑満限ノ後監視ニ付ス可キ犯人ナル時ハ警察所ニ於テ第二章ノ
 例ニ從テ處分ス可シ
 第四十七條 假出獄ヲ許ス可キ者住所ナク及ヒ引取人ナキ時ハ第三
 十二條ノ例ニ從ヒ三ニ置ス可シ
 第四章 刑更裁判費用

第四十八條 濠審公判ニ付キ呼出シタル證人醫師鑑定人通解人翻譯
 人ニ給與ス可キ日當旅費止宿料及ヒ第五十一條第五十二條ニ記載
 シタル者ヲ以テ刑更ノ裁判費用ト爲ス
 第四十九條 日當旅費及ヒ止宿料ノ金額左ノ如シ
 日當五十錢
 旅費一里十錢
 止宿料一宿二十五錢
 住居三里以外ノ地ニ在ル者ハ往復旅費ヲ給シ及ヒ呼出ノ地ニ滞在
 中ハ日當並ニ止宿料ヲ給ス其三里未滿ノ地ニ在ル者ハ旅費止宿料
 ヲ給セス
 第五十條 證人ノ日當旅費及ヒ止宿料ハ本人ノ請求スルニ非サレバ
 之ヲ給與セス
 第五十一條 證人日當料ヲ以テ生業トスル者治罪法第百九十條ニ從ヒ

償金ヲ要スル時ハ旅費日當ノ外若干ノ償金ヲ給スルコトアル可ニ
第五十二條 船隻合密等ノ費用及ヒ數多ノ時間ヲ要スル翻譯料ノ類
ハ日當ノ外別ニ之ヲ給與ス可シ

第五十三條 裁判費用ノ宣告ヲ受ケ未タ之ヲ納メサル前ニ於テ犯人
身死スル時ハ其相續人ヨリ之ヲ徵收ス

第五章 賠償處分

第五十四條 贓物犯人ノ手ニ在ル時ハ直チニ被害者ニ還付スト雖モ
若シ帳簿シテ他人ノ手ニ在ル時ハ被害者ノ請求ニ因リ還給セシム
ル者トス

第五十五條 贓物帳簿シテ他人ノ手ニ在ル時公商ニ由リ買取シタル
物品ハ其公商若クハ被害者ヨリ買取者ニ原價ヲ償ハサレハ直チニ
還給セシムルコト得ス

若シ公商ニ由ラスシテ買取シタル物品ハ其還給ヲ拒ムコト得ス但

其買取者ハ賣者ニ對シ賠償ヲ求ムルコト得

第五十六條 贓物ヲ受ケ又ハ典物トシテ受取タル者其贓物現在スル
時ハ還給ヲ拒ムコト得ス但典物トシテ受取タル者ハ典主ニ對シ贓
償ヲ求ムルコト得

第五十七條 贓物交換シテ現在スル時ハ公商ニ由ル否トテ區別シ第
五十五條ノ例ニ從テ處分ス可シ

第五十八條 贓物已ニ費用シタル時又ハ識別ス可カラサル時又ハ其
所在ノ知トサル時ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコト得

第五十九條 人名譽若クハ殺傷ニ関シタル損害其他犯罪ノ爲メ現
生シタル損害ハ其賠償ヲ請求スルコト得但失火ハ此限ニ在ラス

第六十條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ其犯罪ノ發見スル刑罰裁判所ニ
請求スルコト得若シ其審判已ニ終リタル後ハ民事裁判所ニ非サレ

ハ之ヲ請求スルコト得ス

第六十一條 刑吏裁判所ニ於テ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ請求スル者ハ通常ノ文書又ハ言語ヲ以テ之ヲ爲スルヲ得其民吏裁判所ニ請求スル者ハ民吏訴訟ノ程式ニ從フ可シ

第六十二條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ冰犯死スル時ハ其相續人ニ對シ之ヲ要求スルヲ得

第六十三條 贓物ノ還給損害ノ賠償ノ宣告ヲ受ケタル者還給賠償セラル時ハ被害者ヨリ更ニ民吏裁判所ニ身代限ノ處分ヲ請求スルヲ得

大正 藤井幸三郎門人中銅版影之ヲ

刑法

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト爲ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホスヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經ザル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ス可キ者ニ適用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ
 若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

第二章 刑例

第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス
 主刑ハ文ヲ宣告ス
 附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セサル者トヲ定ム
 第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス
 一 死刑
 二 無期徒刑
 三 有期徒刑

四 無期徒刑
 五 有期徒刑

六 懲役
 七 輕懲役
 八 重懲役
 九 禁獄

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス
 一 禁錮
 二 輕禁錮
 三 罰金

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト爲ス
 一 拘留
 二 科料

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

一 剝奪公權

二 停止公權

三 禁治産

四 監視

五 罚金

六 沒收

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死法ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ行フコト得ス

第十四條

大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フコトヲ禁ス

第十五條

死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ナル時ハ其執行ノ停止ヲ命ジ後一百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

第十六條

死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルコトヲ許サス

第十七條

十二年以上十五年以下ト爲ス島地ニ發遣シ定役ニ服ス

第十八條

十二年以上十五年以下ト爲ス島地ニ發遣セス内地ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條

徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條

流刑ハ無期有期ヲ分クテ島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ服セス有期流刑ハ十二年以上十五年以下トス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ行政ノ處分ヲ以テ開

ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限リ居住セシムルヲ得
有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ
第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス

但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ
重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト爲ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス
重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト爲ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ定役ニ服シ輕禁錮ハ定
役ニ服ス

禁錮ハ重輕ノ分トス十一月以上五年以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ
其長短ノ區別ス
第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ工錢ハ監獄ノ規則ニ從ヒ其幾分

獄舎ノ費用ヲ供シ其幾分囚人ニ給與ス但現役百日以内ハ給與ノ
限ニ在ラス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ノ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若シ限内
納完セサル者ハ一圓ノ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ滿

サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス
罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官

之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ過ルヲ得ス
若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮

ヲ免ス但親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ
第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セス其刑期ハ一日以上

十日以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ノ區別ス
第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以下ト爲シ仍ホ各本條ニ

於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ定メ拘留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 糾奪公權ハ左ノ權ヲ糾奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト爲ルノ權

三 勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實ノ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ノ附テ子孫ノ爲メニスルハ此限ニ在ラス

在ラス

八 分散者ノ管財人爲リト又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權

九 學校校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ糾奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ反ヒ其刑期間公權ヲ行フコトヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣告ノ用ヒス監視ノ期間公權ヲ行フコトヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止メ監視ニ付シタル者亦同シ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財産ヲ治ムルコトヲ禁ス

第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ治

産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑ノ短期三分ノ一ニ等シキ時間監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルコトヲ得ス

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其補ニ就キタル日ヨリ起算ス

若シ主刑ヲ免シテ止メ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納免セザル時ハ

第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ至刑滿期ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ノ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一 法律ニ於テ禁制シタル物件
二 犯罪ノ用ニ供シタル物件
三 犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スルコトヲ得ス

第四節 徵償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラレ、ト雖モ被害シヤノ
請求ニ對シ 贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カレ、コトヲ得ス

第四十七條 數人共犯ト係ル裁判費用贖物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯
人ヲシテ之ヲ連帶セシム

第四十八條 裁判費用贖物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ
刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルコトヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル
時ハ請求ナシト雖トモ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス

第五節 刑期計算

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一
月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ十二個月ニ從フ
受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ算入セ
ス

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行スルコトヲ得

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シタル者
ハ左ノ例ニ隨フ

一 犯人自ら上訴シテ其上訴正當ナル時ハ前判宣告ノ日ヨリ起算ス
若シ其上訴不當ナル時後判宣告ノ日ヨリ起算ス

二 檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トチ分タス前判宣
告ノ日ヨリ起算ス

三 上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入ス
ルトチ得ス

第五十二條 刑期限内逃走シ再ビ捕ニ就キタル者ハ其逃走ノ日數ヲ
除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節 假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ識守シ悔改ノ狀ヲ

アル時ハ其刑期四分ノ三ヲ経過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スヲ得

無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ経過スルノ後亦同シ
死刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ例ヲ用ヒ

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルハト雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ假出獄ヲ許サス
第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ遁レタル者法律ニ定メタル期限ヲ経過スルニ因テ期滿免除ヲ得

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得

一 死刑ハ三十年

二 無期徒刑ハ二十五年

三 有期徒刑ハ二十年

四 重懲役重禁獄ハ十五年

五 輕懲役輕禁獄ハ十年

六 禁錮罰金ハ七年

七 拘留科料ハ一年

第六十條 剥奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ経テ期滿免除ヲ得但シ禁制物ハ期滿免除ノ限ニ在ラ

ス

第六十一條 期満免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ隠匿裁判ニ係ル時ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮捕ヲ命ジタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ期満免除ヲ起算ス

第八節 復権

第六十三條 公權ヲ剥奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ経過スルノ後其情状ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルヲ得主刑ノ期満免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ経過スルノ後亦同シ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復権ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中記載スルニ非ザレバ復権ヲ得ス

赦ニ因テ復権ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス

第六十五條 復権ハ勅裁ニ非サレバ之ヲ得可カラス

第五章 加減例

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載タル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

- 一 死刑
- 二 無期徒刑
- 三 有期徒刑
- 四 重懲役
- 五 輕懲役

第六十八條 國吏ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一 死刑

- 二 無期流刑
- 三 有期流刑
- 四 重禁獄
- 五 輕禁獄

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス
 輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト爲シ其加重ス可キ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス
 輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルコトヲ得

第七十二條 拘留科料ニ該ル者如減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス
 違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルコトヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルコトヲ得減シテ一日以下ニ降スコトヲ得ス科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルコトヲ得減シテ五錢以下ニ降スコトヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄ス
 第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス

第四章 不論罪及ヒ減輕

第一節 不論罪及有恕減輕

第七十五條 抗拒ス可カラサル強剛ニ遇ヒ其意ニ非ザルノ所爲ハ其罪ヲ論ゼズ

天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身體ヲ防衛スルニ出タル所爲亦同シ

第七十六條 本属長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者ハ其罪ヲ論ゼズ

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論セス但法律規則ニ於テ別ノ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ハ爲ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス
罪亦重カル可クシテ犯ス時知ラザル者ハ其重キニ從テ論スルニト
ヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スコトヲ得ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セザル者ハ其罪ヲ論ゼズ

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ情状ニ因リ滿十六歳ニ過キザル時間之ヲ懲治場ニ番置スルコトヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ審察シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論ゼス但情状ニ因リ滿二十歳ニ過キザル時間之ヲ懲治場ニ番置スルコトヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス

第八十二條 癡癡者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論ゼズ但情状ニ因リ五

年ニ過ギサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルコトヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖トモ其罪ヲ宥恕スルコトヲ得ス

滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス十二歳ニ滿サル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不諭罪宥恕減刑ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ夏未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニアラス

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ擲害ヲ賠償シタル時ハ自首減輕ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セズト雖尼半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處断ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情狀源諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルコトヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖トモ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルコトヲ得

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年内再犯其違警罪裁判所ノ管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非ザレバ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非ザレハ之ヲ論スルコトヲ得ス

第九十五條 刑期限内再犯罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再犯重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非ザレハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因リ免罪ヲ得タル者ハ再犯罪ヲ犯スト雖ヒ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九十八條 一犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序

第九十九條 犯罪ノ情状ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減輕等其各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

- 再犯加重
- 猶想減輕
- 自首減輕

四酌量減略

第七章 數罪俱發

第一百條 重罪輕罪ノ犯シ本々判決ノ終スル罪以上俱ニ發シタル時ハ
一ノ重キニ從テ處断ス

重罪ノ刑ハ輕罪ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ輕罪ノ等シキ者ハ從從テ
輕罪ノ刑ト爲ス

輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重ト者ニ從テ處断ス

第一百一條 違警罪ニ罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス若シ重罪
又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ

第一百二條 罪前ニ發シ已ニ判決ヲ終テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ
等シキ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後

發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第
二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑罰ニ通算ス

若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セザル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタ
ル者ハ其再犯ト比較シテ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス
第一百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從テ時ト雖厄其沒收及ヒ徵償ノ
處分ハ各本法ニ從テ

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第一百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ各自ニ其刑
ヲ科ス

第一百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯カサシメタル者ハ又正犯ト爲
ス

第一百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯
及ヒ教唆者及ボスヲ得ス

第一百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ斂入シテ

多數ト爲人トテ得ル

第八條 兇人教唆シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指

定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示シ

タル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ノ處断ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ止メ其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ

科ス

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ職ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 從犯

第九條 正罪輕罪ヲ犯スルノ知テ謀謀ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其

他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ助成シ犯罪ノ容易ナラシメタル者ハ從

犯ト爲シ正犯ノ刑ニ從テ減人但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル

所ヨリ重キ時ハ止メ其知ル所ノ罪ニ照シテ等ト減人

第十條 身分ニ因リ刑ヲ加重人可キ從犯ト爲ル時ハ其重ト

テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑ハ其輕キニ從

テ減免スルヲ得ス

第九章 未遂犯罪

第十一條 罪ヲ犯サントシテ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ未タ其

實ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ

ス

第十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其實ヲ行フト雖モ犯人意外ノ障

礙若クハ外錯ニ因リ未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等

又ハ二等ヲ減ス

第十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ前條ノ例ニ照シ

テ處断ス

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレ

ハ前條ノ例ニ照シテ處断スルヲ得ス
違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其罪ヲ論セス

第十章 親屬例

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云フ

- 一 祖父及父母夫妻
- 二 子孫及其配偶者
- 三 兄弟姉妹及其配偶者
- 四 兄弟姉妹ノ子及其配偶者
- 五 父母ノ兄弟姉妹及其配偶者
- 六 父母ノ兄弟姉妹ノ子
- 七 配偶者ノ祖父父母
- 八 配偶者ノ兄弟姉妹及其配偶者
- 九 配偶者ノ兄弟姉妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ父母ト稱ス

ルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫外孫同シ兄弟姉妹

ト稱スルハ異父異母ノ兄弟姉妹同シ

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ急害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスル者ハ死刑ニ處ス

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

第百十八條 皇族ニ對シ急害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其急害ヲ加

ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第一百九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ重

禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月

以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二章 國吏ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第百廿一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スル

ヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期徒刑ニ處

シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁錮ニ處シ

其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ

二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備

ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

第百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵

ヲ擧ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑

ニ處ス

第百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ水刑ヲ科ス

第百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備

ヲ爲シタル者ハ第百二十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

内亂ノ陰謀ヲ爲シ未ダ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

第百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未ダ其戔ヲ行ハサ

ル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監
視ニ付ス。

第二百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ノ聚會所ヲ給與シタル者ハ二年
以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第二百二十八條 内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セ
サル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二節 外患ニ關スル罪

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ノ交戰中同盟國
ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國
及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥艦其他軍資ニ關スル土地家
屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵

隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期徒刑ニ
處ス

敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ藏匿シタル者亦
同シ

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス
者交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賄遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備
ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス
其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

第三百十四條 外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其
布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上

百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六

月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第三十六條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ヲ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處テ附加隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強迫シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附加隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條

暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒毀シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制止セサル者亦同シ

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第三十九條

官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第四十條

前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第四十一條

官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖画又ハ公然ノ演説ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論セス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第四百十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處断ス

第四百十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百十二條

ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルヲ知テ故サラニ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメテ圖リ其罪證ト爲ル可キ物件ヲ藏匿シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ適ル、罪

第百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

第百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣ニタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪
第百六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

如ス

第百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

第百六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

第百六十五條 汽車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ

其他急險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス
第百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其他航海ノ設備ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前條

ニ同シ

第六十七條 前數條ニ記載シタル罪其妻妾ニ関スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ歐打創傷ノ各本刑ニ照シ重キニ從テ處断ス

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ汽車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪
第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建物ニ入りタル者ハ十一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ攜帶シテ入りタル時

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建物ニ入りタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一等ヲ加フ

七十三條 故ナク皇居禁苑雜宮行在所及ヒ皇陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七十八條 陸海軍ノ徴兵ニ編入セラル可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應ゼシメタル者亦同

シ其囑託ヲ受ケテ徴募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處断ス

第七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ又前條ニ同シ

第八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消毒ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第八十四條 官許ヲ得テ発行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未ダ行使セサル者ハ各刑ニ照シ一等ヲ減シ未ダ成ラサル者ハ二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未ダ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇テ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各刑ニ照シ二等ヲ減ス

第八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

第九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第九十二條 貨幣ノ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

若シ職工雜ニ及ビ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セリル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但シ其價額ハ二圓以下ニ降ス一ヲ得ス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期

徒刑ニ處ス

第九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第九十七條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第九十八條 官ヨリ発行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第二百一節 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期徒刑ニ處ス其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ

増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盗用シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲後ニ處ス

其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下附シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十五條 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分

タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

ナ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ
第二百十六條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ爲メ疾病ノ證書ヲ僞造シ
テ行使シタル者ニハ囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ造リタル醫師ハ
前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使シタル
者ハ亦僞造ノ刑ニ同シ

第六節 僞證ノ罪

第二百十八條 刑罰ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被
告人ヲ曲庇スル爲メ或實ヲ掩蔽シテ僞證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ
照シテ處断ス

- 一 重罪ヲ曲庇スル爲メ僞證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮
- 二 處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 三 輕罪ヲ曲庇スル爲メ僞證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

二處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
三 違警罪ヲ曲庇スル爲メ僞證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断
ス

第二百十九條 僞證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ僞證者
ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル爲メ僞證ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ
照シテ處断ス

- 一 重罪ニ陷ラシムル爲メ僞證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮
- 二 輕罪ニ陷ラシムル爲メ僞證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮
- 三 違警罪ニ陷ラシムル爲メ僞證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮

第二百一十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽証者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ス

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ルノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス
第二百二十三條 民吏商賈又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第二百二十四條 鑑定又ハ通吏ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通吏ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證ノ例ニ同シ

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判官告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各刑條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條 偽造鑄造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ刑
條ノ附二一等ヲ減ス

第二百二十九條 商賣農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者
ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者
ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其職務身分姓名年
齡職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ
職務權限若シハ内外國
ノ勲章ヲ濫用シタル者ハ十圓以上二十圓以下ノ重禁錮ニ處シ三圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一
月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票
ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造
シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上
四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ
其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以

上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者

ハ有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ

之ヲ販賣シタル者ハ輕微役ニ處ス

第二百三十九條 稅關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメ

タル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ

輕微役ニ處ス

ハ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以上ノ重禁

錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者

ハ一月以上一年以上ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フル丁

能ハザルニ至ラシメタル者ハ十一月以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ

腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以上ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者

ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ八ノ犯ス丁ヲ知テ捕ルセサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪

第二百五十條 官許ヲ得ズシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以

上^{じやう}百^{ひやく}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ニ處^{しよ}ス

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}五^ご條^{じやう} 前^{ぜん}二^に條^{じやう}ノ罪^{つみ}ヲ犯^とシ因^よテ人^{ひと}ヲ疾^や病^{びやう}又^{また}ハ死^しニ致^{いた}シタル者^{もの}ハ過^か失^{しつ}殺^{ころ}傷^{やう}ノ各^{かく}本^{ほん}條^{じやう}ニ照^あシ重^{おも}キニ從^{したが}テ處^{しよ}斷^{たん}ス

第^{だい}六^{ろく}節^{せつ} 私^{ひか}ニ醫^い業^{ぎやう}ヲ爲^なス罪^{つみ}

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}六^{ろく}條^{じやう} 官^{くわん}許^{きよ}ヲ得^えズシテ醫^い業^{ぎやう}ヲ爲^なシタル者^{もの}ハ十^{じゆ}圓^{えん}以上^{いじやう}百^{ひやく}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ニ處^{しよ}ス

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}七^{しち}條^{じやう} 前^{ぜん}條^{じやう}ノ犯^と人^{ひと}治^ち療^{りやう}ノ方^{かた}法^{ぽう}ヲ誤^{あや}リ因^よテ人^{ひと}ヲ死^し傷^{やう}ニ致^{いた}シタル時^{とき}ハ過^か失^{しつ}殺^{ころ}傷^{やう}ノ各^{かく}本^{ほん}條^{じやう}ニ照^あシ重^{おも}キニ從^{したが}テ處^{しよ}斷^{たん}ス

第^{だい}六^{ろく}章^{しやう} 風^{ふう}俗^{じやく}ヲ害^{がい}スル罪^{つみ}

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}八^{ぱち}條^{じやう} 公^{こう}然^{ぜん}猥^{わい}褻^{せつ}ノ所^{しよ}行^{ぎやう}ヲ爲^なシタル者^{もの}ハ三^{さん}圓^{えん}以上^{いじやう}三十^{さんじゆ}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ニ處^{しよ}ス

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}九^{きゆう}條^{じやう} 風^{ふう}俗^{じやく}ヲ害^{がい}スル罪^{つみ}

第^{だい}二^に百^{ひやく}五^ご十^{じゆ}九^{きゆう}條^{じやう} 風^{ふう}俗^{じやく}ヲ害^{がい}スル罪^{つみ} 冊^{さつ}子^し圖^ず畫^が其^そ他^た猥^{わい}褻^{せつ}ノ物^{ぶつ}品^{ひん}ヲ公^{こう}然^{ぜん}陳^{ちん}列^{りやく}シ又^{また}ハ販^{はん}賣^{ばい}シタル者^{もの}ハ四^よ圓^{えん}以上^{いじやう}四十^{しじゆ}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ニ處^{しよ}ス

第^{だい}二^に百^{ひやく}六^{りく}十^{じゆ}條^{じやう} 賭^た場^{じやう}ヲ開^か張^{ちやう}シテ利^りヲ圖^かリ又^{また}ハ博^{ぱく}徒^とヲ招^{せう}結^{けつ}シタル者^{もの}ハ三^{さん}月^{げつ}以上^{いじやう}一^{いち}年^{ねん}以下^{いげ}ノ重^{じゆう}禁^{きん}錮^こニ處^{しよ}シ十^{じゆ}圓^{えん}以上^{いじやう}百^{ひやく}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ヲ附^ふ加^かス

第^{だい}二^に百^{ひやく}六^{りく}十^{じゆ}一^{じゆ}條^{じやう} 財^{ざい}物^{ぶつ}ヲ賭^たシテ現^{げん}ニ博^{ぱく}奕^{えき}ヲ爲^なシタル者^{もの}ハ一^{いち}月^{げつ}以上^{いじやう}六^{ろく}月^{げつ}以下^{いげ}ノ重^{じゆう}禁^{きん}錮^こニ處^{しよ}シ五^ご圓^{えん}以上^{いじやう}五十^{ごじゆ}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ヲ附^ふ加^かス其^そ情^{じやう}ヲ知^ちテ房^{ぼう}屋^ゐヲ給^{きよ}與^よシタル者^{もの}亦^{また}同^{どう}シ但^た飲^{いん}食^{じやく}物^{ぶつ}ヲ賭^たスル者^{もの}ハ此^こ限^{かぎ}ニ在^あラズ

賭^た博^{ぱく}ノ器^き具^ぐ財^{ざい}物^{ぶつ}其^そ現^{げん}場^{じやう}ニ在^あル者^{もの}ハ之^{これ}ヲ沒^{ぼつ}収^{しゆ}ス

第^{だい}二^に百^{ひやく}六^{りく}十^{じゆ}二^{じゆ}條^{じやう} 財^{ざい}物^{ぶつ}ヲ職^{しやく}集^{じやく}シ富^ふ籤^{せん}ヲ以^もテ利^り益^{えき}ヲ獲^とク者^{もの}ハ業^{ぎやう}ヲ興^{きよ}行^{ぎやう}シタル者^{もの}ハ一^{いち}月^{げつ}以上^{いじやう}六^{ろく}月^{げつ}以下^{いげ}ノ重^{じゆう}禁^{きん}錮^こニ處^{しよ}シ五^ご圓^{えん}以上^{いじやう}五十^{ごじゆ}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ヲ附^ふ加^かス

第^{だい}二^に百^{ひやく}六^{りく}十^{じゆ}三^{じゆ}條^{じやう} 神^{しん}祠^じ佛^{ぶつ}堂^{だう}墓^ぼ所^{じよ}其^そ他^た禮^{らい}拜^{はい}所^{じよ}ニ對^{たい}シ公^{こう}然^{ぜん}不^ふ敬^{けい}ノ所^{しよ}爲^なル者^{もの}ハ二^に圓^{えん}以上^{いじやう}二十^{にじゆ}圓^{えん}以下^{いげ}ノ罰^{ばつ}金^{きん}ニ處^{しよ}ス

若シ説教又ハ禮拜シ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百六十四條 埋葬ノ可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

入

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十七條

偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可

カラサレ食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁

錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十八條

偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ以札ヲ妨害シタル者

ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

第二百六十九條

偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者亦前

條ニ同シ

第二百七十條

農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變

ヒシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シ

タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變入ル爲メ雇人及ビ他ノ雇主ニ對シ僞計威カチ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十二條 虛偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十三條 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サハ三個月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

ス

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 官吏八民ニ對スル罪

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條 人ノ身體財産ヲ妨害スル犯人アルニ當リ豫審判事檢察官警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サハ十者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セズシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正二人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ

重禁錮ニ處シ三箇以上二十箇以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日
ヲ過ル毎二一等ヲ加フ

第二百七十八條 同職官吏程式規則ヲ遵守セズシテ囚人ヲ監禁シ若
クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セザル者ハ亦前條
ノ例ニ同シ

第二百八十條 前條ニ記載シタル官吏又ハ職送者囚人ニ對シ飯食
衣服ヲ屏去シ其他苛罰ノ時爲テ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ
重禁錮ニ處シ四箇以上四十箇以下ノ罰金ヲ附加ス

囚テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加
ヘテ重キニ從テ處ス

第二百八十一條 火災災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解ク丁ヲ怠リ囚テ
死傷ニ致シタル者ハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述

セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以
下ノ重禁錮ニ處シ五箇以上五十箇以下ノ罰金ヲ附加ス
囚テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ
加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十三條 裁判官檢事故タクシテ刑章ノ訴ヲ受理セズ又ハ遷
延シテ審理セザル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五箇以
上五十箇以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八十四條 官吏ハ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ
タル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四箇以上四十箇以下ノ
罰金ヲ附加ス

囚テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ
第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ

聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十六條 裁判官檢察官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收

受シ又ハ之ヲ隠蔽シタル者ハ二年以下ノ重禁錮ニ處シ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告ハ其曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十

圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告ハ其罪シタル者ハ三年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十

圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ

重キ時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

第二百二十七條 裁判官檢察官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情

ニ徇カト又ハ怨ヲ挾サ三被告ハ其曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例

二同シ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ

沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物等ヲ竊取シタル者ハ

輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條ノ

例ニ照シテ處斷ス

第二百九十條 租稅其他諸賦ノ入額ヲ徵收スル官吏正數外ノ金數ヲ

徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ

六月以上二年以下ノ監視ニ處ス

第三編 身體財產ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十五條 支解亦賣其他慘酷ノ處爲テ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ罪ヲ免カレ、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ死ニ

致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十八條 謀殺故殺ノ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ

及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘傷シ癱瘓ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業

ヲ營ム丁能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮
 ニ處ス
 其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁
 錮ニ處ス
 疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十日以上一
 月以下ノ重禁錮ニ處ス
 第三百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シテ休業癩篤疾又ハ死ニ致シタル
 者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ
 第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ候種ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ
 免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ
 第三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ
 本刑ヲ科ス
 第三百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷

人

人

欠

MISSING

罪ヲ論也ス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論ス

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出タル時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戶牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

第三百十六條 身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルヲ得

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十七條 曠職懈怠又ハ規測慣習ヲ遵守セズ過失ニ因テ人ヲ死
ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ廢篤疾ニ致シタル者ハ十圓以
上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシタル者ハ
二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ
爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以
上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等
ヲ減ス

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ
重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日
以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
但監禁日數十日ヲ過ル毎二一等ヲ加フ

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ殴打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ
屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ
毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコト怠
リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放

火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十八條 親屬へ害ヲ加フ可キ車ヲ以テ脅迫シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ告誡ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪
第三百三十條 墮胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一

月以テ六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十六條 八歳ニ滿サレ幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ら生活スル丁能ハサル老者痲病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十八條 八歳ニ滿サレ幼者又ハ老疾者ヲ寥閑無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ廢疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アル丁ヲ知テ之ヲ扶助セヌ又ハ官署ニ告ル者ハ

第三百四十一條 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

十二歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐メ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナル丁ヲ知テ自己ノ家屬僕婢

十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アル丁ヲ知テ扶助セヌ又ハ申告セサル者又同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐メ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナル丁ヲ知テ自己ノ家屬僕婢

十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アル丁ヲ知テ扶助セヌ又ハ申告セサル者又同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐メ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナル丁ヲ知テ自己ノ家屬僕婢

十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アル丁ヲ知テ扶助セヌ又ハ申告セサル者又同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐メ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナル丁ヲ知テ自己ノ家屬僕婢

十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アル丁ヲ知テ扶助セヌ又ハ申告セサル者又同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐メ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ら藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナル丁ヲ知テ自己ノ家屬僕婢

十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

ト爲シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者或ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴ノ効ナシ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サレ幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十六條 十二歳ニ滿サレ男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サレ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ姦ノ

所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十九條 十二歳ニ滿サレ幼者ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ廢篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ褻瀆シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金を附加ス

第三百五十三條 有夫ノ婦女通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ効ナシ

第三百五十四條 配偶者アル者重子ヲ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金を附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪
第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メザル前ニ於

テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百一十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

第三百五十八條 惡車醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ在ノ例ニ照シテ處斷ス

一公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金を附加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金を附加ス

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧

循其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏洩シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラズ

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁ヲ追遺棄誣告訴毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但廢疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致

シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セズ其他必要

ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦

前條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ

不論罪ノ例ヲ用フルヲ得ズ但其犯入時知ラザル者ハ此限ニ在ラ

ズ

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月

以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ盜ヲ犯シタル者ハ六

月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ墮越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條 兇器ヲ携帶シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤

池沼湖海ニ於テ人ノ生業ニ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條 祖父父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹五ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者

ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ

一二人以上共ニ犯シタル時
二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ

處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虛偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ

減ス

第三百八十九條 家資分散ノ際、帳簿ノ類ヲ藏匿毀滅シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第五節 詐期取財及ヒ受寄財物ニ關スル罪

第三百九十條 人ヲ欺用シ又ハ恐喝シテ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四

圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與シメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
第三百九十二條 物件ヲ取賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若

クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當

典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣

與シ又ハ重子テ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二

年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金

額物件ヲ贖消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ贖

取拂帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖官署ヨリ差押ヘタル物件

ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分

散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂罪犯ノ例ニ照シ處斷ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節 贓物ニ關スル罪
第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナル丁ヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナル丁ヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ十一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建築物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ厩屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乗載シタル船舶汽車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其ノ人ヲ乗載セサル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トチ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ氷澗ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等ヲ荒廢

シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下

ノ重懲役ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ故サラニ人ヲ乗載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス但舷中死ニナキ時ハ無期徒刑ニ處ス
第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載セザル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五

年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ
處斷ス

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊
圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處
シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ
處ス

第四百二十條 土地ノ境界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル
者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月以下ノ

重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁
錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十四條 人ノ權理義務ニ関スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者
ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

第四編 違警罪

第四百二十五條

左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
一規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シタル者

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ発ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

三官許ヲ得スシテ煙火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ煙火其他火器ヲ玩ヒタル者

五蒸氣器械其他煙筒火籠ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サハル者

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者

九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラザル者

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者

十一人ノ住居セザル家屋内ニ潛伏シタル者

十二定リタル住居ナリ平常官生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但被告人偽證ヲ爲メ刑ヲ免カレタル時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留

ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受ケ傍觀
 之ヲ背セサル者
 三不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者
 四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シ
 タル者
 五人ノ通行ス可キ場所ニアル急險ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防禦ヲ
 爲サベル者
 六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘯シ又ハ驚逸セシメタル者
 七狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者
 八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者
 九變死人ノ檢視ヲ受ケズシテ埋葬シタル者
 十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚漬シタル者
 十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十二公然人ヲ罵詈譁弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
 第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留
 一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
 二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者
 三 夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者
 四 水石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケズ又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタ
 ル者

五瓦礫ヲ道路家屋圍ニ投擲シタル者
 六禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者
 七汚穢物ヲ道路家屋圍ニ投擲シタル者
 八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者
 九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

十 死シノ申告シヲ爲スサスシテ埋葬シタル者
十一 流言シ淨シ詭シヲ爲シテ人ヲ誑シタル者
十二 疑ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

十三 私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者
十四 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者
十五 路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタル者
十六 道路橋梁其他ノ場所ニ誘シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十
錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス
一 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者
二 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取リ又ハ故ナク

通行ヲ妨ケタル者

三 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ
通行シタル者

四 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者
五 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタル
者

六 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル
者

七 制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者
八 官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者

九 身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者
十 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十一 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十九條

料ニ處ス

左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科

- 一 橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ス可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者
- 二 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
- 三 車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
- 四 水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通航ノ妨害ヲ爲シタル者
- 五 氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者
- 六 官署ノ督促ヲ受ケテ通路ノ掃除ノ爲サベル者
- 七 制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
- 八 牛馬ヲ牽キ又ハ繫ク一ヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
- 九 出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者
- 十 通行禁止ノ標示ヲ犯シテ通行シタル者

- 十一 道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ背セサル者
 - 十二 酒酩シテ路上ニ喧噪シ又ハ酔臥シタル者
 - 十三 路上ノ常燈ヲ消シタル者
 - 十四 人家ノ牆壁ニ汚紙及ヒ樂書シタル者
 - 十五 邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他告報ノ榜標等ヲ毀損シタル者
 - 十六 他人ノ田野園圃ニ於テ菜葉ヲ淋食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者
 - 十七 公園ノ規則ヲ犯シタル者
 - 十八 通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者
- 第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル處ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ス

明治十五年十一月八日 出版御届
同 年 月 出 版

(定價 廿五 円)

編輯兼出版人

大坂府平民
藤井幸三郎
東區安土町三丁目廿番地



